

令和2年度 学校経営の改革方針

津市立芸濃中学校

(1) めざす学校像

学校教育目標： 自立に向かう生徒の育成

～人を大切に～

気づきが拓く学校づくり ～人を大切に～

◎一人ひとりが大切にされ、安心して生活できる楽しい学校 (安心)

◎「気づき・考え・実行する」を大切に、明るく活気に満ちた学校 (活気)

◎地域・家庭との連携を大切にして、創造や改善を図りながら、

常に教師の力量や学校力を成長させようとする学校 (学校力・教師力)

生徒につけたい3つの力

◎「気づき」「考え」「実行する」力

◎伝える力(聴く・話す力)

◎他者との個性の違いを受け止め、互いに認め合い、高め合っていく力

(2) 現状と課題

- ① 学習や部活動に真剣に取り組む生徒が多くいる。しかし、個別の支援の必要な生徒が存在している。学校自己評価から見えてきた課題としてとらえ、生徒を大切にする学校経営を進める必要がある。
- ② 人権学習に積極的に取り組み、自分たちから始まる人権学習を推進しているが、人の痛みを知り、共感することにつながり合う真の反差別の仲間づくりを確固たるものにする取組が必要である。また、保幼小中一貫教育においてめざす子ども像を共有し、カリキュラムを実のあるものとして指導にあたることで充実を図りたい。
- ③ 学校経営改革方針の中心として、「授業づくり」を進めてきた。その結果、全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックにおいて、授業改善の成果として現れつつある。「学び上手」な生徒も増えた。より質の高い学びの創造をめざすとともに、家庭学習の内容やICTの活用についても、今後より深い研修を深める必要がある。
- ④ 「授業づくり」を中心とした職員研修により、職員の同僚性が高まったことは大きな成果である。今後、職員の同僚性の高まりをもとに、生徒にかかわる課題等を共有

化し、課題解決に向けて取り組む学校ぐるみの対応力（学校力）をより向上させる必要がある。また、地域・保護者に、信頼される学校づくりを進めるためにも、教職員のより丁寧で地道な対応が必要である。

⑤ 教職員の真摯な取組により学校運営が進められている。教職員の過重労働をなくすためにも総勤務時間の縮減に向けての取組を工夫し、さらに進める必要がある。

⑥ まちづくり協議会や社会福祉協議会の取組を中心に地域との連携を進める。GVT（ボランティア）活動にも着実な広がりを見せている。今後も「地域とともにある学校づくり」や「学校からのまちづくり」の観点を大切にしていきたい。

（３） 重点目標

- ① 反差別の仲間づくりのために豊かな関わりを育み豊かな心を育てる人権教育の推進
- ② 一人ひとりの学びを保障する授業づくり（生徒・教職員の同僚性の確立）
- ③ 学校力（教職員）のパワーアップ
- ④ 地域・保護者とともにある学校づくり

（４） 具体的な行動計画

豊かなかかわりを育み豊かな心を育てる教育の推進

- ① 生徒会活動・部活動を充実させ、多くの活動の場を設定する。特に、地域と協働したボランティア活動を推進する。
- ② 人権・同和教育を基盤にした反差別の集団づくりの力量を高めるとともに、学年の積みあげを大切にし、連携を強化した取り組みを進める。
- ③ 支援会議を定例化し、個別の指導計画に基づく支援体制を確立する。
- ④ 「つながり合う」をキーワードに、生徒間、生徒と教師がつながる場を持つ。

学びを感得する授業づくり

- ① 授業研究と職場 OJT の活性化に努める。
 - ・校内、校区内、市内に向けた公開授業実施。（公開一人 3 回以上）
 - ・専門性や力量を高める研修会等に積極的に参加し、その還流に努め、職場での OJT の活性化を図る。
 - ・授業実践の記録を「学びの履歴」としてまとめ活用する。
- ② 少人数教育（全数学・全英語）、放課後学習の支援を通して学力向上に努める。
- ③ ICT の活用により学力向上に努める。

学校力（教職員）のパワーアップ

- ① 教職員との対話を積極的に持ち、各教職員の自己目標達成に向けた取り組みを支援する。
- ④ これまでに培われた同僚性を大切にし、実践を継続していく。
- ⑤ 各種委員会（企画・研修・人権・生徒指導・特別支援）を定例化し、情報を共有し、学校ぐるみの対応力を向上させる。
- ④ 教職員の総勤務時間の縮減に向けての取組を進め、元気な職場づくりを進める。
 - ・毎月1日以上 of 定時退校日を設定する。
 - ・部活動休養日を週に2日（平日1日、休日1日）設定する。
 - ・週時程の中に各校務分掌会議を設定し、放課後に開催する会議を90分以内にする。
 - ・時間外労働の削減時間を教職員一人月あたり4時間を目標に取り組む。
 - ・振替休日の確保、休暇取得（特休、年休）の取得日数を月あたり1日以上。
 - ・月80時間を超える時間外労働者をなくし、全員年間720時間以内を目指す。
- ⑥ 教職員自ら校内・校外に、笑顔で元気のあふれる挨拶を実践していく。

地域・保護者とともにある学校づくり

- ① 授業参観・学年懇談・地区懇談会等の持ち方を工夫し、保護者と協働して取り組む活動を実施するなど、「地域・保護者とともにある学校づくり」を進める。
- ② まちづくり協議会をはじめとする地域の団体との連携を深め、「学校からのまちづくり」の観点で、諸活動に参加する。また、教員と協議会、生徒会と協議会との懇談を定期的実施する。
- ③ メール配信・学級学年学校だよりの積極的な情報発信に努める。